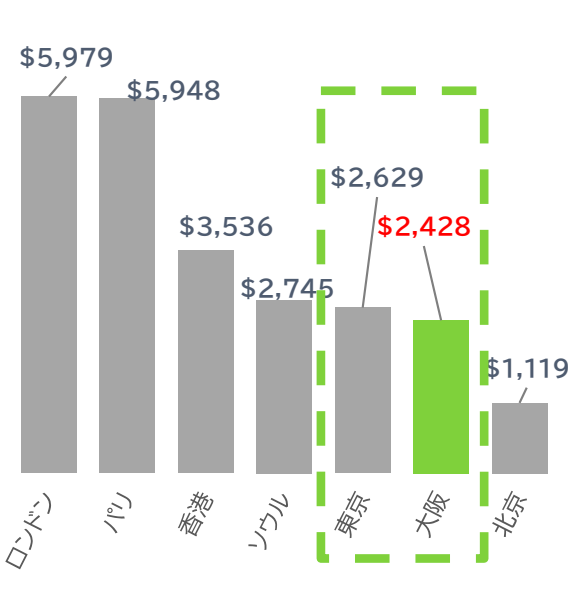


6-1 快適なビジネス・生活を支える環境

- 日本第二の都市圏であるにも関わらず、首都圏に比べオフィス賃料、人件費や物価が安価なため、ビジネスを始めるのに最適です。
- 国や公的機関、民間企業などによる外国人向けのサポートも充実していて、外国人にも住みやすい地域です。

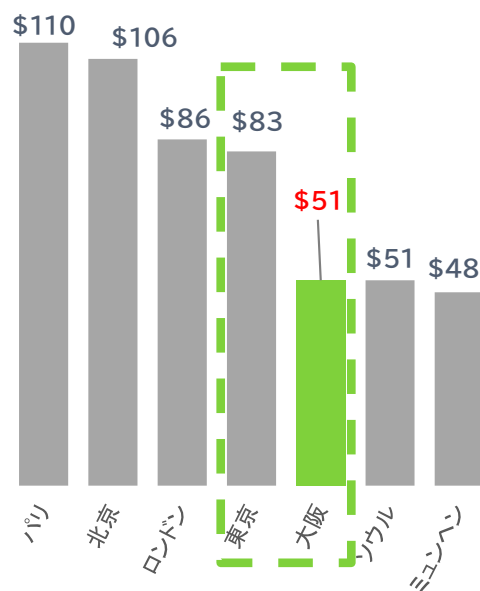
廉価なコスト

【オフィス賃料】



(出所)JETRO 投資関連コスト比較調査(2023年度)を元に近畿経済産業局作成
事務所賃料と製造業・エンジニアの賃金を比較、単位USDドル

【人件費】



住みやすい都市ランキング2024

住みやすい都市ランキング2024(総合評価)では、大阪は世界第9位。
アジアで上位10位以内に入った唯一の都市です。

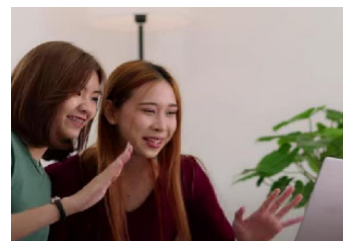
順位	都市名	総合評価	安定性	医療	文化・環境	教育	インフラ
1	ウィーン	98.4	100.0	100.0	93.5	100.0	100.0
2	コペンハーゲン	98.0	100.0	95.8	95.4	100.0	100.0
7	バンクーバー	96.6	95.0	100.0	97.2	100.0	92.9
9	大阪	96.0	100.0	100.0	86.8	100.0	96.4
9	オークランド	96.0	95.0	95.8	97.9	100.0	92.9

(出所)The Economist「The Global Liveability Index 2024」より作成 (注)指数100が最高評価

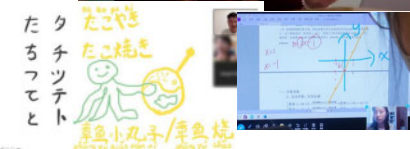
外国人留学生と外国ルーツを持つ子どもたちをサポート

一般社団法人 Transcend-Learning

<https://transcend-learning.org/>

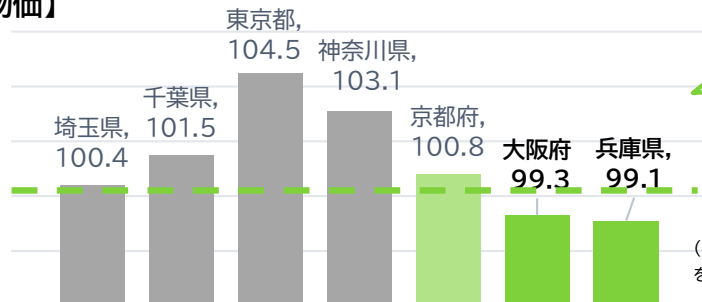


留学生の就職率の改善と関西地域の外国をルーツに持つ子どもたちへの教育支援を共に解決することを目的に、大学や教育庁と連携して、日本社会貢献型のSDGSインターンシップを実施。留学生が、外国籍を持つなど日本語が不自由な子どもたちを母国語でサポートし、学習指導や精神面でのフォローを実施し、外国人の居住支援に繋がっています。



【物価】

消費者物価地域差指数「総合」(全国平均=100)



特に、大阪府は
光熱・水道コストが
全国で最も安価！

(出所)総務省「消費者物価地域差指数」(2023年)
を元に近畿経済産業局にて作成

6-2 外国人のための居住支援等窓口

外国人のための相談窓口

多言語による在留資格、労働・仕事、医療、福祉、教育など、各自治体での暮らし・一般生活支援の相談窓口も充実しています。

(公財)福井県国際交流協会 https://www.f-i-a.or.jp/ja/	しが外国人相談センター https://www.s-i-a.or.jp/counsel
(公財)京都府国際センター https://www.kpic.or.jp/	(公財)京都市国際交流協会 https://www.kcif.or.jp/
(公財)大阪府国際交流財団 (OFIX) https://www.ofix.or.jp/	(公財)大阪国際交流センター https://www.ih-osaka.or.jp/
(公財)兵庫県国際交流協会 https://www.hyogo-ip.or.jp/	(公財)神戸国際コミュニティセンター https://www.kicc.jp/ja
奈良県外国人支援センター https://www.pref.nara.jp/31742.htm	(公財)和歌山県国際交流協会 https://wak-kokusai.jp/

外国人のための生活情報の提供

「対日直接投資推進会議」の決定に基づき、病院、銀行、携帯電話、電気・ガス等の生活情報をJETROのホームページにて集約して提供しています。

JETRO HP	「Living in Japan」 https://www.jetro.go.jp/en/invest/setting up/living.html	
	「Investment Opportunities in Japan's Regions」 https://www.jetro.go.jp/en/invest/region/	

訪日及び在住外国人に対する生活支援企業（一例）

株式会社YOLO JAPAN

<https://www.yolo-japan.co.jp/>



(株)YOLO JAPANは、外国人が日本で生活をトータルサポートするワンストップサービスを提供し、239の国・地域から30万人以上が登録しています。

2019年9月に大阪市浪速区に開設した複合施設「YOLO BASE」は、レストランとイベントスペースを備え、多国籍の人々も交流できる活気あふれる拠点として、地域活性化にも貢献しています。

株式会社ドリームキャッチャー

<https://dreamcatcher.co.jp/>



(株)ドリームキャッチャーは、訪日及び在住外国人の安心安全を担う医療通訳環境整備を進めています。医療機関での多言語対応は専門的な通訳が必要であるため、同社設立の子会社により遠隔医療通訳、病院案内、医療通訳者育成などを行っています。

この医療通訳環境整備が、訪日・在住外国人にとって安心安全のインフラになることを目指し、取組を推進しています。

(出所) はなやかKANSAI魅力アップアワード受賞企業

[https://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/toukou award outline.html](https://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/toukou%20award%20outline.html)



6-3 安定したインフラと地政学的な優位性を持つ関西

- 安定したインフラが求められるデータセンターが関西には多く立地することから、電力共有の安定度や自然災害リスクが低いことが分かります。
- 政情の安定性や治安の良さなど地政学的な優位性を背景に、安心してビジネス展開できる環境が整っています。

データセンターでみる関西のインフラの安定性

データセンターに適した立地の条件として、

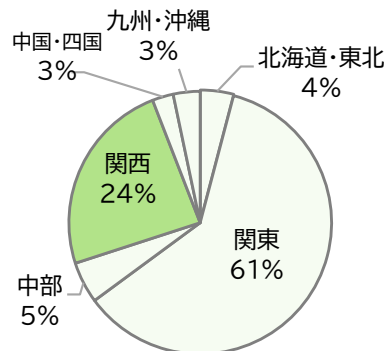
- 都心からも空港からも比較的近い
- 地盤が強固で地震に強い
- 洪水・土砂災害・液状化などの災害リスクが低い
- まとまった平坦な土地を取得しやすい
- 電力効率の良さ、電力供給の安定性
- 物理的なセキュリティの徹底が例としてあげられます。

大阪府茨木市・箕面市(彩都西駅近辺)では、上記の特徴を活かして5棟以上のデータセンターが立地し、敷地面積が約10haの大型のデータセンター群が形成されています。



(出所): 経済産業省「デジタルインフラ(DC等)整備に関する有識者会合」第1回事務局説明資料

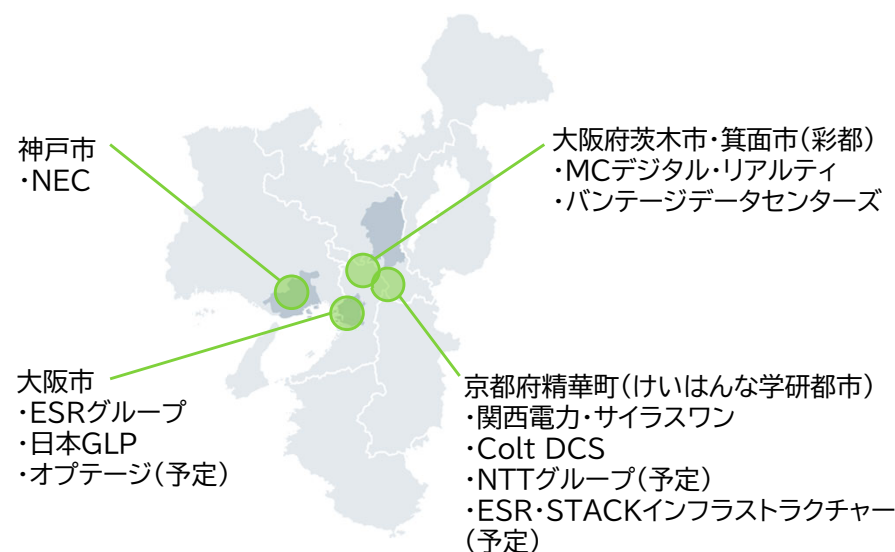
○地域別サーバールーム面積割合



国内のデータセンターの大半が関東及び関西に立地しており、サーバールーム面積を基準とすると、関西地域が全体の24%程度を占めます。

(出所): 経済産業省「デジタルインフラ(DC等)整備に関する有識者会合」第1回事務局説明資料、日本政策投資銀行HP(富士キメラ総研データデータセンター「ビジネス市場調査総覧2021年版」を基に、日本政策投資銀行作成)

○関西に立地する主なデータセンター



(出所): 近畿経済産業局調べ

地政学的なメリット

関西では、政情の安定性や治安の良さなど地政学的なメリットを活かして、企業資産や従業員の安全を確保しながら、安心してビジネスを展開できる環境が整っています。

政情の安定性



治安の良さ



犯罪率の低さ

